

<事業所全体による自己評価> R1.11.09実施

happiness&kirahapi

項目	選択した理由	現状分析	解決目標	解決方法	期限	経過 令和2年11月時点
いちばん星で策定している緊急時対応マニュアル・災害マニュアル等について保護者に周知・説明されていますか。	訓練はしているが、対応について周知できていないため。	お便りに、災害時訓練などのことについて記載し、配布しているが、詳しい事柄について周知できていない。重心児の災害時の職員の動き方などについて、考え、話していかなくてはいけない。	保護者が災害時の対応を認知する。	災害時の対応などをHappiness独自の書面で提示する。	1年	・提示できていない ・保護者向けの説明(緊急時に保護者に求める対応)が不十分
身体状況・活動状況について、日常的に活動する学校との間で連携がとれていますか。	学校との連携をとり、利用児個人への理解を深めるため。	情報の共有がなされていないわけではないが、不十分である。担当者会議で学校からの情報を得ることが多い。日頃から情報を共有することがあまりできていない。面談のときに、学校での様子を保護者から得ている。情報の量は、個人差が大きい。	ご家族へのフィードバックを細かく行う。	スタートミーティング時に、当日利用する児の学校との確認事項を伝達する。	1年	・学校で引き継いだ情報と、来所した時の様子と併せて伝えればより意味のあるものになる。
職員の配置数や専門性は適切ですか。	専門的に関わる意識を高めるため。	新しい職員が重症児療育の経験がない。利用児一人ひとりのできることの分析が足りていない。ご家族と利用児のことに関する話が伝えられていない。	利用児一人ひとりの支援方法を明確にし、共有する。	部署内で、わからないことなどを話し合う時間を設ける。個人のフィードバックをスタートミーティング時に行う。職員同士で利用児の様子を伝達、共有する。	1年	・個人の自己研鑽をしっかりと行う。 ・支援方法について他職種同士でのディスカッションを行っていく。